



かがやき

昭和53年4月1日創立 児童数301名 15学級 <http://www.sakasai-e.kashiwa.ed.jp/>

大きな成長の証です

77日という長い2学期が本日で終了します。今までに体験したことのないような暑さでスタートし、つい最近まで12月とは思えないような暖かな日もありました。やっと本来の冬の寒さを感じられるようになってきましたが、気が付くともう終業式です。季節の移ろいを感じることもなく、子ども達は日々の活動に精力的に取り組んできました。12月5日にはエビネマラソン大会が開催されました。一人一人が「今までの自分を超越する」ことを目標に、約1ヶ月にわたり持久走練習に取り組んできました。業間休みや昼休みの自主練習は逆井小の恒例となっていますが、今回も多くの子も達が熱心に取り組んでいました。当日は3年女子からスタートし最後の6年男子までどのレースでも子ども達は自分に挑戦し続けました。ゴール後は達成感で最高の笑顔を見せる子、悔しがる子、疲れ果ててしばらく放心状態の子、等々様々でしたがみんな本当に頑張りました。また一つ成長しました。さらに今年度は「～年ぶりの実施」という活動も多くありましたが、芸術鑑賞会もその一つでした。12月18日に劇団「かかし座」による影絵劇を全校で鑑賞しました。約半数以上の児童は影絵劇を初めて見るとのことでしたが、劇団の方達が手や体だけでさまざまな動物の影を作り出すたびに大歓声や拍手がおきました。また各学年代表1名の児童がワークショップに参加し、実際に自分の体を使い影絵で表現してみました。「鑑賞」とは芸術作品などを見たり聞いたりしてその良さを味わう、という意味があります。まさに新しい文化に触れ、その素晴らしさを理解する機会となりました。今学期は今まで以上に様々な体験活動を取り入れることで、子ども達の興味関心を高めたり、感性を磨くことができたと思います。またそれにより、自己肯定感が高まってきたはずで、明日からの冬休みはご家族とゆっくり過ごす大切な時間です。学校ではできない体験をしてまた元気な姿で3学期学校に戻ってきてくれることを期待しています。

保護者の皆様、今学期も逆井小の教育活動へのご理解とご協力本当にありがとうございました。来学期もどうぞよろしくお願いいたします。



○日本伝統の文化を学んでいます

小学校では書写の授業があります。学習指導要領では「我が国の言語文化に関する事項」の中に位置付けられており、その目的は「文字を正しく整えて読みやすく書くことができるようになる。」ことです。12月6,7日に外部講師をお招きして、3年生以上が体育館で書初めの練習を行いました。条幅と呼ばれる長い半紙にだるま筆を使い、手本を見ながら一文字ずつ丁寧に書いている姿は緊張感が伝わってきます。書きあがると、講師の先生のもとに行き、見ていただきます。「パーフェクト」と言ってもらえると嬉しそうな表情に変わります。背筋を伸ばし、改まった気持ちで書くと自然に美しい文字になることが実感できる時間でした。



○自分たちの手でより良い学校を

12月7日から8日間生活委員会主催のあいさつ運動が行われました。1学期に続き2回目です。1学期は高学年のみでしたが、今回は中学年も参加しました。各学級1日ずつ担当し、正門や昇降口に立ち、登校してくる児童達に「おはようございます。」と声をかけます。人としてあいさつは最も基本的なコミュニケーションです。そして子ども達自身がより良い学校にするために活動することは自治活動となります。子ども達の自治力が、将来のより良い地域や社会に生きることを願っています。



○平和の大切さを今一度確認しました

12月1日に6年生を対象に柏和会の方3名をお招きして原爆体験を聞く会を実施しました。これは毎年行っていますが、大変貴重な機会です。実際に3歳の時に長崎で被爆をされた方がその体験を語ってくださいました。原爆が投下されたのは今から78年前のことです。その時の町の様子はまるで地獄のようだったそうですが、その後も差別や健康被害等で多くの方達が辛い思いをされたそうです。柏和会は広島や長崎で被爆された方で現在柏やその近隣に住んでいる方達がメンバーです。しかし高齢化が進み、体験をお話できる方も少なくなっているそうです。現在もウクライナやイスラエルで戦争が続いており、多くの罪のない人たちが犠牲となっています。将来を担う子ども達がぜひ平和な世界を作っていってほしいと思います。



○地域と共に歩む学校として

昨年度、コミュニティスクールを発足させて以来、逆井小の子ども達は地域の方と共に多くの経験を重ねています。12月9日には、吹奏楽部が南部地区青少協主催の4校合同演奏会に参加しました。近隣の土南部小、逆井中、南部中の音楽部や吹奏楽部の児童生徒とともに互いの演奏を聞き合い交流すると同時に、多くの人前で演奏することが更なる自身につながりました。また、各学年の授業にコミュニティスクールとして支援をいただいています。なのはな学級ではわらを使ったクリスマスリースを地域の方と一緒に作成しました。教室前には素敵なリースが飾られ、クリスマスの雰囲気が十分感じられます。今後は支援をしていただくだけでなく、子ども達が地域のためにできることを考え、活動できるようになることが目標です。

